

2 取り組み方針の点検結果（平成26年度）

評価	評価の状況	点検結果
◎	年度目標値を達成している	13
○	すでに実施している(進行中)	17
△	計画が思うように進まない	7
×	実施していない	3
合計		40

目指すべき環境像 基本目標	個別目標	取り組み方針	指標	目標値	達成年度	現状	担当課	評価		
自然と共生するまちづくり 基本目標1	1-1 生物の多様性や自然環境を保全する	武田氏館跡周辺における貴重植物の生態保護	貴重植物の種類	現状維持	各年度	2種	文化課	◎		
		水田における冬期湛水管理の推進	冬期湛水管理を実施する水田の面積	年間0.3haの実施		0ha	農政課	×		
	1-2 水環境を保全する	水源かん養機能等の高い森づくりの推進	水源林植樹の集いにおける整備面積、参加者数	総面積 3ha	平成25年度～平成34年度	0.3ha	林政課 上下水道局	○		
				総参加者数 3,000人		0人(雨天中止)				
	1-3 緑を保全する	地域や家庭における緑化の推進	花いっぱい緑いっぱい運動での花の苗の配布数	年間11万株	各年度	114,612株	公園緑地課	◎		
			緑化教室の開催回数	年間5回の開催		5回				
		身近な緑地等の確保及び保全	市民と協働で管理する公園・緑地等の箇所数	前年度以上		36カ所	公園緑地課	◎		
		地球温暖化防止につながる森林整備の推進	森林整備の面積	100ha	平成25年度～平成34年度	17.13ha	林政課	◎		
	快適環境のまちづくり 基本目標2	2-1 大気汚染を防止する	大気汚染に係る環境基準を達成する	環境基準達成率(光化学オキシダントを除く物質)	達成率100%	各年度	100%	環境保全課	○	
				環境基準達成率(光化学オキシダント)	前年度より改善		92%			
		大気汚染に関する公害の発生を減らす	大気汚染に関する公害苦情件数	前年度より減少			69件	環境保全課	◎	
2-2 水質汚濁を防止する		水質汚濁に係る環境基準を達成する	生活排水対策を推進する	環境基準達成率	達成率100%	各年度	100%	環境保全課	◎	
				生活排水処理率	達成率99%		平成34年度			96.2%
2-3 土壌・地下水汚染を防止する		土壌汚染の発生を防止する	地下水に係る環境基準を達成する	汚染発件数	発生しないこと	各年度	1件	環境保全課	○	
				環境基準達成率	達成率100%		100%			環境保全課
2-4 騒音・振動・悪臭の発生を防止する		騒音に係る環境基準を達成する	騒音に係る環境基準を達成する	道路交通騒音に係る環境基準達成率	前年度より改善	各年度	97.2%	環境保全課	○	
				生活空間の騒音に係る環境基準達成率	達成率100%		100%			
		騒音・振動・悪臭に関する公害の発生を減らす	騒音・振動・悪臭に関する公害苦情件数	前年度より減少			61件	環境保全課	○	
2-5 化学物質による汚染を防止する	化学物質による環境リスクを低減する	化学物質の環境中への排出量・移動量	前年度より改善(県全体)	各年度	2,081t	環境保全課	○			
2-6 快適環境を保全する	良好な景観や自然環境を保全する	武田氏館跡整備事業の推進	規制等への違反件数	発生しない	各年度	1,841件	都市計画課	△		
			整備済み面積	前年度より増加		1.06ha			文化課	○
2-7 地域美化の促進(不法投棄や犬等のふんの発生防止・空き地等の適正管理)	不法投棄の発生を減らす	不法投棄発件数	前年度より減少	各年度	214件	収集課	○			
2-8 資源物等の持ち去りを防止する	資源物等の持ち去り行為を減らす	持ち去り行為発件数	前年度より減少	各年度	7件	収集課	△			
低炭素のまちづくり 基本目標3	3-1 再生可能なエネルギーを推進する	温室効果ガス排出量の削減	温室効果ガス排出量	853千t-CO2	平成32年度	未公表	環境保全課	未評価		
		太陽光発電システムの導入促進	温室効果ガス排出削減量	12.8千t-CO2		未公表			環境保全課 管財課 他	未評価
		バイオディーゼル燃料(BDF)の利用促進	廃食用油回収量	8,500ℓ/年		7,010ℓ			減量課	○
	3-2 クリーンエネルギー自動車の普及を推進する	電気自動車用の充電設備の整備	急速充電器の整備箇所数	市内10カ所	平成32年度	3カ所	管財課 環境保全課	△		
			普通充電器の整備箇所数	市内50カ所		0カ所				
	公用車への電気自動車の導入	導入台数	延べ35台		0台	管財課	×			
	イベント、シンポジウム等による普及啓発活動の実施	参加者数	延べ1,000人		135人	環境保全課	◎			
3-3 低炭素型ライフスタイルへの転換を推進する	省エネ行動の実践促進	見える化機器モニター数	延べ200件	平成32年度	0件	環境保全課	×			
	住宅・機器による省エネの推進	LED照明の普及による温室効果ガス排出削減量	16.5千t-CO2		未公表			環境保全課	未評価	
		市が管理する道路照明灯のLED化数	毎年度4基	各年度	62基	道路河川課	◎			
3-4 低炭素型移動手段への転換を推進する	エコドライブの推進	講習会参加人数	延べ1,000人	平成32年度	336人	環境保全課	◎			
	エコ通勤・エコ通学等の推進	エコ通勤優良事業所数	100カ所		2カ所			環境保全課	△	
	公共交通機関の利用促進	公共交通機関の輸送人員	現状維持	各年度	314万人	交通政策課	○			
循環型のまちづくり 基本目標4	4-1 3Rの実施を推進する	家庭系可燃ごみの減量の推進	市民1人1日あたりの可燃ごみ排出量	480g以下	各年度	528.25g/人・日	減量課	△		
		有価物・資源物の回収の推進	資源化率(リサイクル率)	28%以上		平成27年度			17.07%	減量課
		最終処分量を減少する	焼却残渣の排出量	前年度比1%減	各年度	10,060.37t	処理課 減量課 収集課	△		
	3R啓発の推進	事業系廃棄物の排出を削減する	ごみ減らし隊による延べ活動回数、延べ参加人数	活動回数180回 参加人数1万人	平成24年度～平成27年度	187回 8,046人	減量課	○		
			事業系一般廃棄物の排出量	前年度より減少	各年度	26,638t			収集課	○
4-2 持続可能な農業を推進する	経営耕地面積の維持	経営耕地面積	881haを確保	平成32年度	993.8ha	農政課	◎			
	エコファーマーの推進	エコファーマー認定人数	年間3人	各年度	2人	農政課	○			
環境教育を推進する 基本目標5	5-1 イベントの開催や人材育成を推進する	地域・家庭における環境教育の推進	環境教育イベント等への参加者数	延べ67,000人	平成32年度	7,200人	環境保全課	○		
		地域の人材育成の推進	地域コーディネーターの人数	延べ100人		5人			環境保全課	△
	5-2 学習の場づくりを推進する	保育園(所)・幼稚園・小学校における学習の場づくり	参加者数	延べ14,000人	平成32年度	1,758人	環境保全課	◎		
	5-3 自然とのふれあいの場づくりを推進する	自然環境とのふれあい事業の推進	水道水源地クリーン作戦への参加者数	参加人数200人	各年度	133人	上下水道局	○		
	5-4 市民参加を推進する	産学官民など多様な担い手による活動の推進	セミナー開催回数	延べ20回	平成32年度	7回	環境保全課	◎		